

(2) 七月十三日幸議團員八日暮里町字旭町三丁目二四二番地  
一戸ヲ借受ケ幸議團本部ヲ設置ス

(3) 七月二十日朝午後一時於日暮里町大字旭町三丁目一五七番  
地、東部下水内頭、石塚幸議莫相発表演說會、同々聴衆二  
百五十名ヲ得并テ翌月涼治、浅沼稻次郎等數名、何レモ本  
幸議ニ對スル工場主ノ態度ヲ攻撃シ團結ヲ強調ス

(4) 八月一日朝午後一時於日暮里町金杉愛隣團講堂「又戰半幸  
石塚幸議批判、東京地方自由労働者組合城北支部日暮里分  
會発表會式」ヲ開催セルカ聴衆三百名右項ト均同一ノ演說ヲ  
相會ノ感動ヲ與ヘタリ

### 一 資本家側

工場主側ニ於テハ特異ノ事項ナシ

### 一 交渉状況

(1) 七月九日午後五時岩内善作ハ幸議團員二十名ヲ率ヒ工場主

ニ會見シ罷ニ工場主ヨリ郵送セル工場用鎖及斜産通書書ヲ  
一括シテ返戻シ其ノ取消ヲ要求シ強硬ニ頑張り双方激論ヲ  
交ヘタルカ遂ニ決裂ニ終ル

(2) 七月十日午後二時三十分岩内善作ハ幸議團員二十名ト共ニ  
工場主ヲ訪問會見ニ特向ニ及ヒタルカ双方一歩々譲ル所ナ  
ク再ニ決裂ニ終レリ

(3) 七月二十五日午後一時ヨリ岩内善作ハ幸議團員二十三名ヲ  
連シ工場主ヲ工場事務所ニ訪ヒ會見交渉セルカ何等遷ル所  
ナク双方怒聲シテ別ル

(4) 七月三十一日午後二時前記ト同様ノ會見行ハレタルカ何等  
ノ進展ヲ見ス

### 一 警察事故

(1) 七月十日午後八時三十分二河荒東善作工場職工某、他約  
五十名連攜、再工場ニ押寄セ工場主ニ會見ヲ求メタルカ工